

平仮名の筆使い

(教科書14・15ページ)

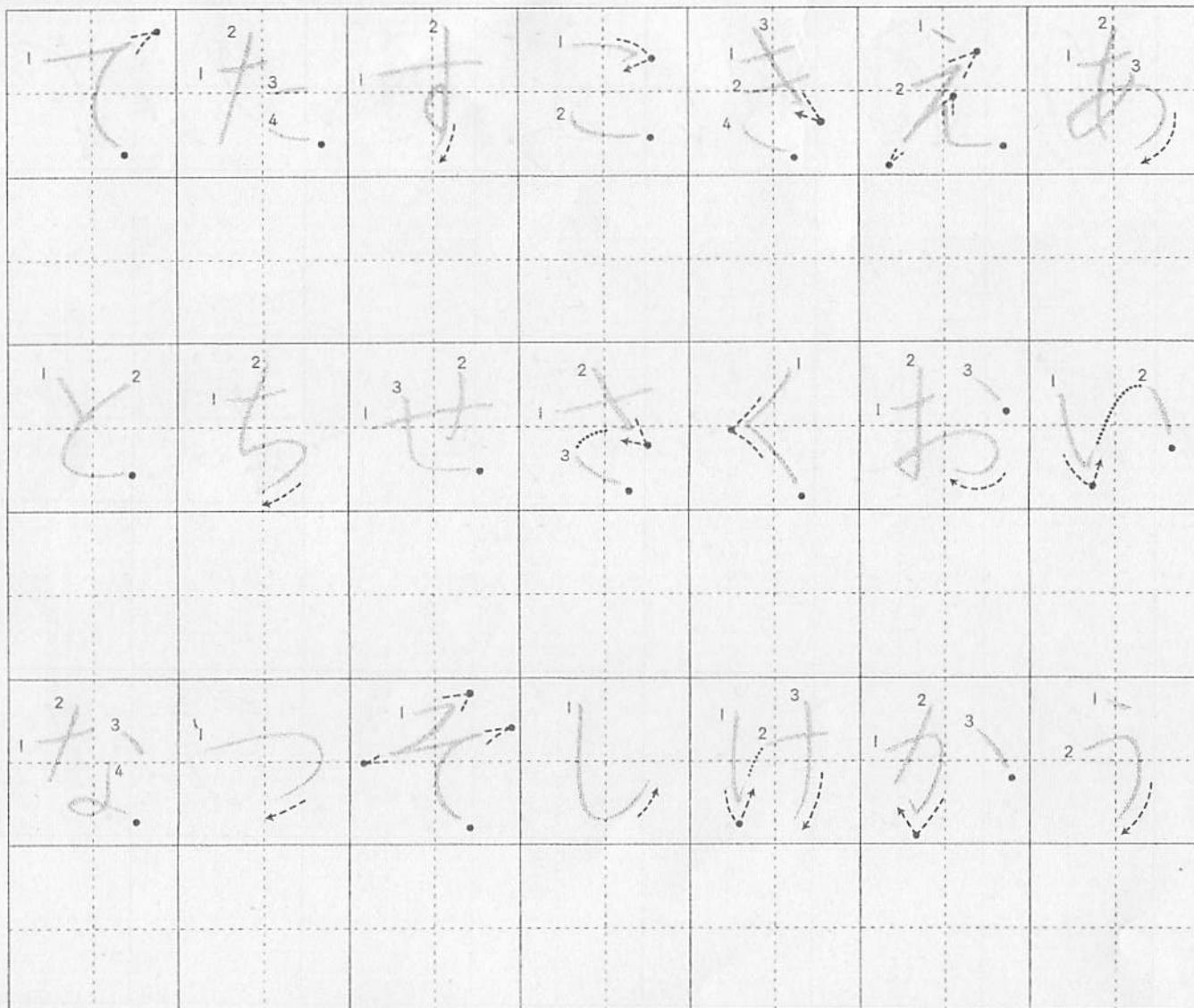
3 書くときの速さ

- ① えんぴつで平仮名をなぞろう。
② 上の文字を見ながら、下のます目に書こう。

月

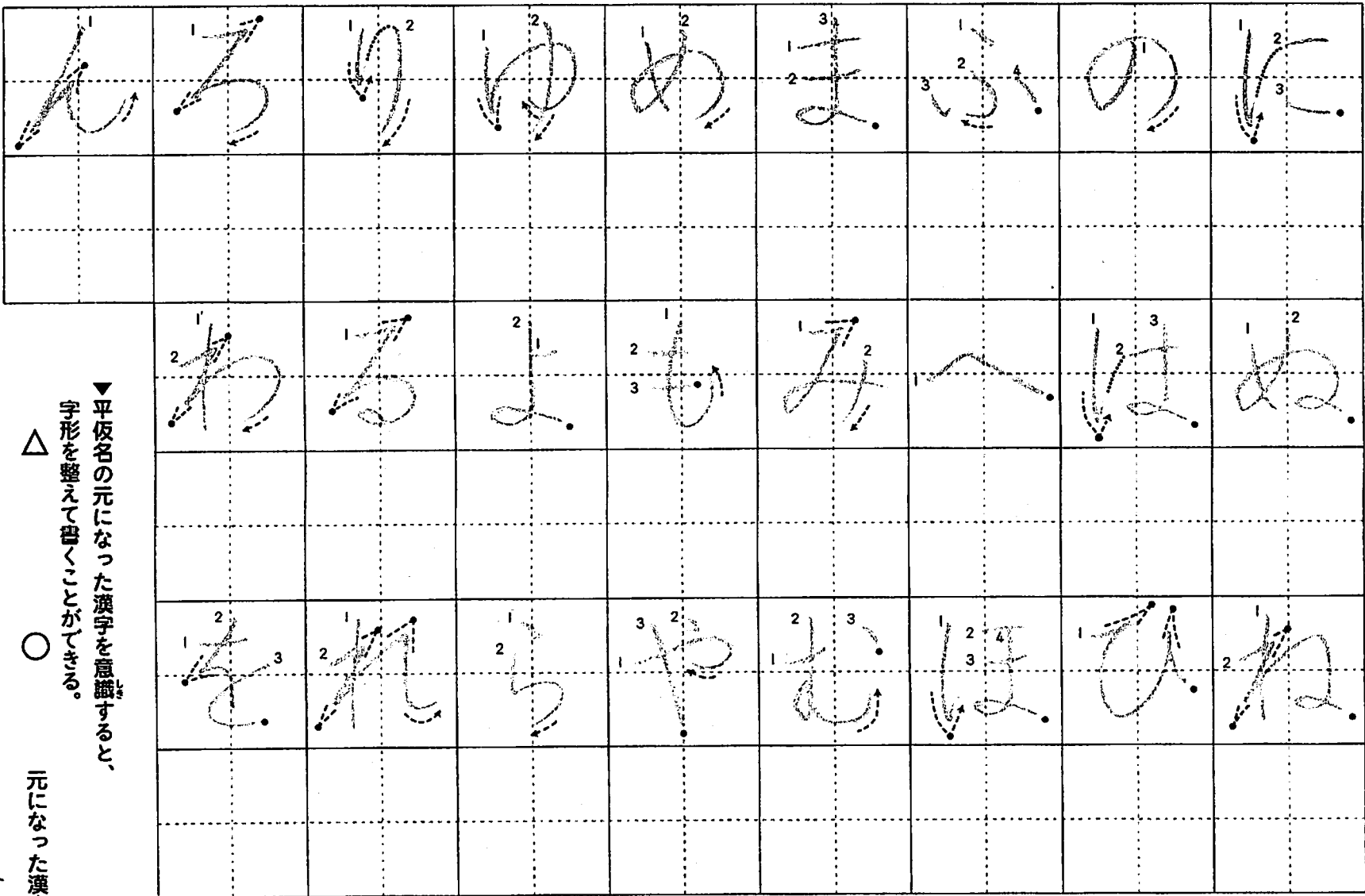
日

名前



4

つづく



▼平仮名の元になった漢字を意識すると、
字形を整えて書くことができる。

△

○

元になった漢字

たーたー太

かたかな 片仮名の筆使い

(教科書 14・15 ページ)

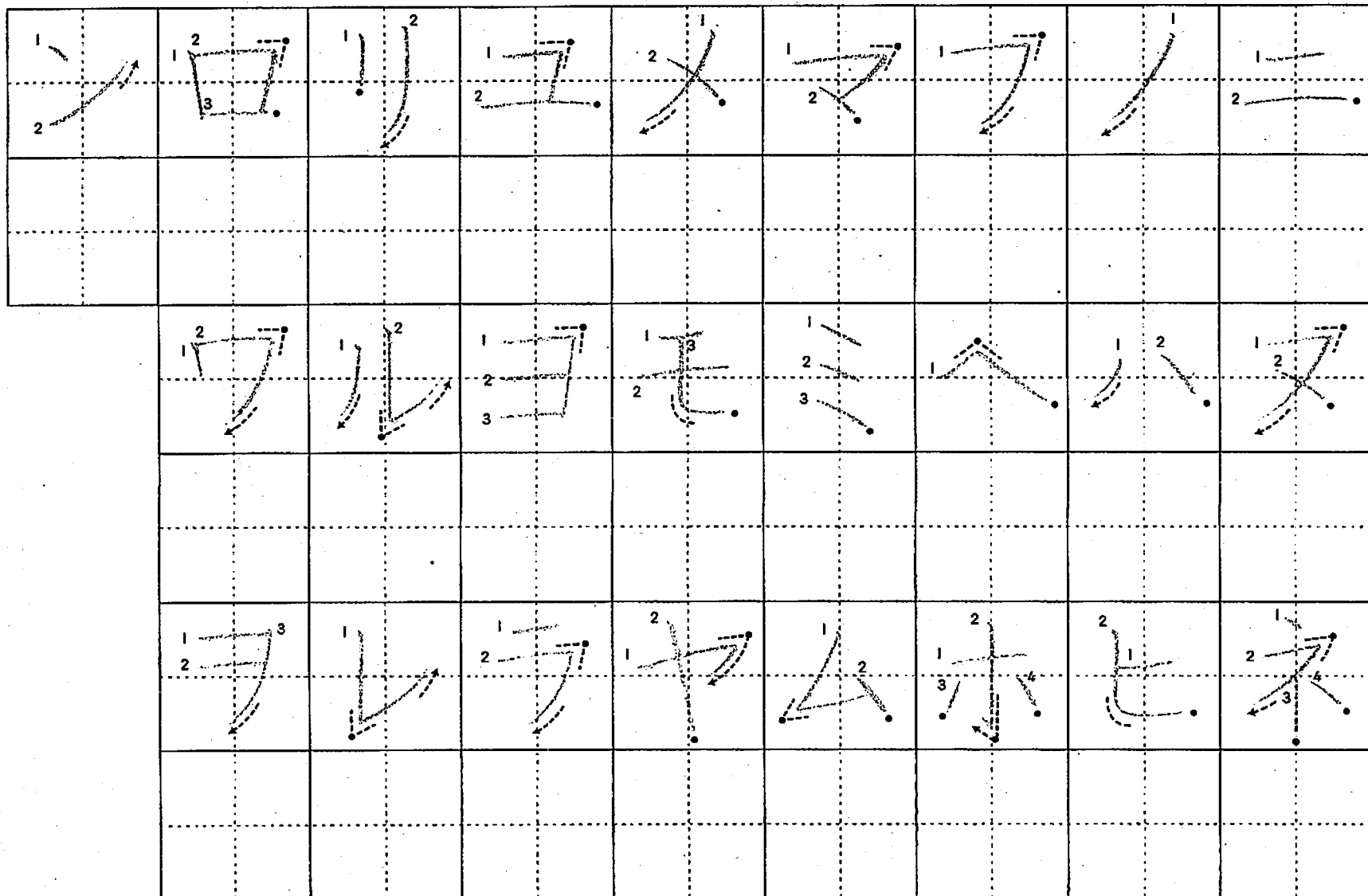
月

日

名前

① えんぴつで片仮名をなぞろう。

② 上の文字を見ながら、下のます目に書こう。



点画のつながりと字形

(教科書 6・7 ページ)

2 字の形

月 日 名前

① ためしに書いてみよう。「ふるさと」

② に当てはまる言葉を入れて、大切なことを確かめよう。



点画のつながりと字形

★ほ先を、次の画の

に

つなぐ気持ちで書くと、

が整う。



山折りー*

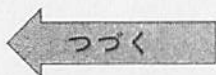
③ 学習したことを生かして書こう。「ふるさと」

※書いたら、シートを折って（*と*を重ねよう）、①で書いた文字と比べてみよう。

④ 点画のつながりを意識して書こう。

ふるさと

平仮名らしい丸みも意識して書こう。



⑤ 学習したことを生かして、「枕草子」を書こう。

春はあけぼの。やう

やう^{（上）}白くなりゆく山^{（下）}は

すこしあかりて、むら^{（下）}々々

だちたる雲のほそくたな

びきたる。

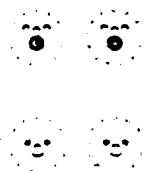
（清少納言「枕草子」より）

⑥ 学習をふり返ろう。

・ ほ先を、次の画の始筆につなぐ気持ちで書くと、字形が整うことが分かった。

・ 点画のつながりと字形を意識して書いた。

⑦ できるようになったことを書きこもう。



筆順と字形

(教科書 8・9 ページ)

2 字の形

月

日

名前

① に当てはまる言葉を入れて、大切なことを確かめよう。

たいせつ

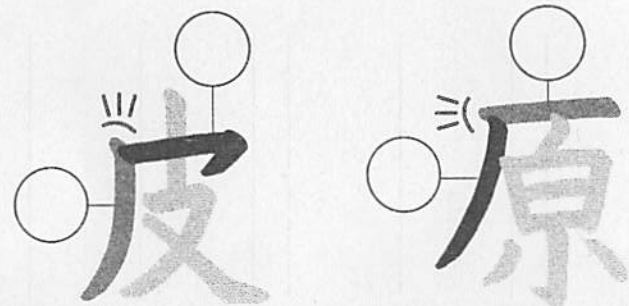
筆順と字形

★画の始筆どうしが付くときは、

に書いた画が出る。



② ○○に筆順を書きこみ、筆順と字形の関係を確かめよう。



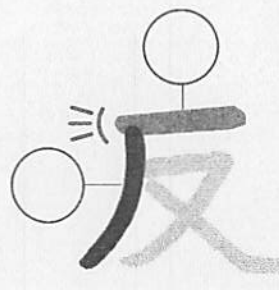
毛皮



野原



感動



反対

③ 学習したことを生かして書こう。

成長

駅前

返答

車庫

温度

顔色

筆順に気をつけて
書こう。



広い教庭を全力で走る。

海岸の波打ちぎわで遊ぶ。

④ 学習をふり返ろう。

- ・ 画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることが分かった。
- ・ 筆順と字形に気をつけて書いた。



⑤ てきふようになっただけを書きこもう。

Blank box for writing practice.